

# 童話といふもの (お話漫筆の一)

長尾豊

「何が童話か」

今日、童話といへばごく大掴みに、「児童のためのお話」といふぐらゐの意味に使はれてゐるらしい。そこでお話口演家のことを、童話の大家などと呼んだり、博物や國史のお話を理科童話、歴史童話などと唱へたりしてゐる。これは一見何でもないことのやうに見えて、其の實少し考へて見ると、どうもおかしい話のやうに思はれて来る。なぜと言へば、童話といふものが別にある。世間でただ何となくさう解してゐるらしい「児童のためのお話」といふ至極廣汎な意味の外に、童話と稱すべき内容をもつたものが、古來からチャンと存在

してゐる。此の童話といふ言葉の誤用濫用は、ちやうど小話といふ言葉のそれに似てゐる。小話といふ字面から考へれば、ただ小さい話、短い話といふ意味に解せられるが、これを小ばなしと讀むと元祿頃から安永天明、文化文政を通じて、ずつと今日にまで及んでゐる笑話のことで、科學小話とか藝術小話とかいふ時の小話とは全く違つたものになる。

同じく児童のためのお話であつても、童話と稱すべきものは範圍がきまつてゐて、史談や傳説や寓話などは、おのづから別種なものに屬する。さて「童話とは何か。」といふやうな問題を、此所

て手輕に片付けようと思へば、わが國の童話、お伽噺、英語のフェアリー・テイルス、ドイツのメルヘンなどといふ言葉と、其の言葉で呼ばれてゐる作品とを並べて考へて見るより外仕方がない。五大噺と呼ばれてゐる桃太郎・花咲爺、舌切雀、猿蟹合戦、かち／＼山、シンドレラ、ジャックと豆の木、グリムの童話、アンダーセンの童話などは、先づ誰が見ても童話で通るだらう。もつともグリムやアンダーセンのものになると、いろんな話が入つてゐるから、嚴密に言つたら童話ばなれのしたものもあらうが、併し、どんな題材でも皆童話風に取扱はれてゐる。

### 童話・傳説・史談

ひと口に童話はノオ・タイム、ノオ・ブレニスで、時と所を缺いてゐると言はれる。又名前もない。三年目だとか、百年たつてとかいふ事はあるが、紀元何年だか、何天皇の御代だかさういふ事は一

切分らない。調べて見ればおよそいつ頃出來た話か、今話されてゐるやうな形に成つたかは分るが、それだからと言つて其の時代の事にして話すわけにはいかない。又、鬼が島とかガラスの山だとか地名らしいものも出て來るが何所だか分らない。人名にしても桃太郎とか赤づきんとか、雪姫とか灰娘とか、芹子せりことかいふのだから、先づ渾名あだなのやうなもので、中にはお爺さんとかお婆さんとか、息子とか、兵隊さんとか、犬とか猫とかがそのまゝ、名前なまえのやうに使はれてゐるものもある、童話の時、所、人物といふものはさつとかう言つた類のものである。

そこで牛若辨慶だとか、朝比奈だとか、依藤太だとか、何々王だとか、聖童なにがし？ 話となると、それはもう傳説であつて童話ではないといふ人がある。さうかと思ふと猫を抱いてゐるロンドンロンドンの市長さん、キツティントンの話などは、傳

説だといふけれども、今日立派に童話で通用してゐるではないか、といふ人もある。牛若辨慶、爲朝、朝比奈だつて童話で通用してゐるといふのだ。

けれどもわたしはかう思ふ、キツェイントンの話と同じ形のはグリムにもある。ただ最後が違つてゐる。かういふ話は何所にもあつたのだから、又ひとつ話があちらこちらへ散つた例もあるだらう。すると初め名前のなかつた主人公に何の某といふ名前が出来、又それが實在の人物に結び附いて誰某の事であると言傳へられた場合もあるらう。すると島めぐりの牛若や朝比奈、お伽草子の牛若は童話だが、義経記などの牛若は傳説だと分けても好いかと思ふ。史談と傳説となると、もつと混淆してゐて、普通われ／＼が史談だと思つてゐるものに、傳説が随分ある。それも先づ史談、歴史ばなしだから通るので、嚴密に言へば史談はほんたうの歴史かどうか分らなくなり、又史實そ

のまゝお話にするといふ事は、實は甚だじづかしいわけになる。さう考へて來ると歴史童話などといふおかしなものはなくなるわけである。

#### 興味と教訓

寓意教訓を含んだものはインツブ流の寓話で、童話には教訓がない。あつてもそれが主要な目的ではない、興味が先だ、といふ説はよく童話の性質を現はしてゐると思ふが、併し、ものは見やう考へやうで、一面から考へると教訓のない童話はないとも言へる。無論其の教訓といふものが、「だから正直にしなければいけませんよ」式の、取つてくつ附けたやうな勸戒でないことは言ふまでもないが、おかしな話、ばかげた物語と見えるものにも、其の話の意味がある。此の意味と興味とは往々にして離れたものでなく、一方を取れば一方が失せ、一方が減じれば従つて又一方も薄くなるやうな關係にあるらしい。

とにかくお話は分つて面白いのである。分らないけれど面白いといふのは、どうもそれはほんたうの面白さではないやうだ。すると分るためには何か其所に興味らしいものがなければならぬ。話全體からそれが汲み取れるところに面白味があるのではないかとも思はれる。

露骨な教訓談や淺薄な寓意物語がよくないと言はれるやうに、無意味な、くだらない、子供だましのお話も同様に宜しくないものらしい。勿論、ナンセンス・ストオリイとか、インノオセンス・ストオリイとかいふ、無意味な話、無邪氣な物語は別だが、それにしても無意味の意味といふやうなものがあるやうだ。まるつきり何を言つてゐるのだから分らないといふやうな話は、童話ではないのかもしくは童話だとしてもあまりよい童話ではないのだらうと思ふ。

## レコード豫約募集

我が國幼稚園に於て最初に採用せられたる唱歌をレコードに致しました。吹込者は我が國第一回の保姆たる氏原綾子、膳眞規子兩先生であります。日本蓄音器商會製作のレコードであります。兩面一枚金貳圓の豫定であります。購入希望の方は豫め東京女子高等師範學校附屬幼稚園内本會事務所に御申込下さい。

昭和四年三月

日本幼稚園協會